



団地内外の住民が喜ぶ桐ヶ丘都営団地建替えに！

「まちづくり住民の会」発足の集いに参加したそね前都議



「まちづくり住民の会」発足で、さがら区議・そね前都議が報告と激励

◆都内最大都営団地の建替えも後期へ

都内最大の都営桐ヶ丘団地は16年に及ぶ前期建替えがほぼ終り、後期計画が提案されています。都の後期案は、初期の計画や地元要望に相反する、西が丘から団地の中央公園を押し分けて北に抜ける自動車道路が持ち込まれたり、建替え地区の住民を桐北小の狭い跡地に壁状の高層棟を建てて、つめ

◆地域要望は高齢者の安心と若年世帯の同居

こみ移転させる計画などが問題になっています。地元住民の願いは、6割に及ぶ高齢化への対策と、住みよい環境を守ること、若い世代が入居でき、住み続けられる団地です。5月下旬に住民有志と東部住宅事務所との懇談が実現し、今後も建替え計画について勉強したり都に要望していく住民の会をつくろうと、準備会がスタートしました。

◆6・23に団地内で「住民の会」発足

直し・改善については住民の立場で都に要望する姿勢はあいまいでした。6月23日、西地区集会所で五十人近く参加し「団地の内も外も近隣住民。力を合わせて安心、安全、住み続けられるまちを」と住民の組織が発足しました。その場で会の名称が「まちづくり住民の会」と決まりました。

◆都や区と懇談し要望を出して行こう

発足会では、さがら区議が、桐北小跡地の住宅計画が、風害や安全面で弊害が多く、都も手直しを繰り返した無理な計画であることなどを報告しました。そね前都議は、桐ヶ丘再生を、最初の乱暴な計画から住民と党の運動で何度も抜本修正させた歴史を紹介。都議会に復帰して奮闘する決意を訴えました。

▼さがら区議が本会議で区の姿勢質す

6月20日にさがらとしこ区議が本会議で区の姿勢を質し、

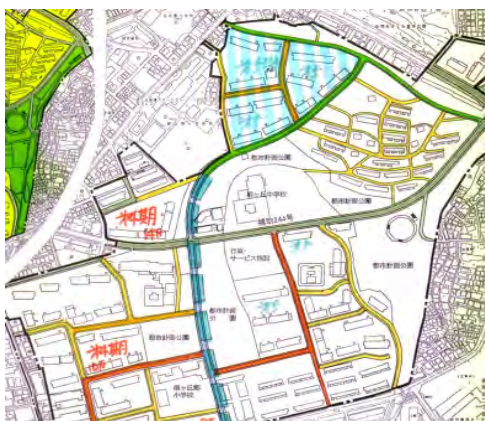
区長は、高齢者の住宅対策や住民要望を十分聞くよう都に求めると答えました。しかし団地の通過道路や高層棟の、見

また建築専門家の新井啓一氏が「都の設計は住まいというより人を“収納する”だけの設計になっている」と批判すると大きな拍手が起きました。「自動車道路もこの計画では渋滞や事故の危険が高い」と指摘しました。

◆村山団地買い物サービスに共感

多摩の村山団地建替えの写真スライドも上映され、立ち並ぶ高層住宅とともに、商店街における年寄りを運ぶ買い物サービスには注目が。今後も情報や意見を交流しようと話しました。「まちづくり住民の会」は団地内外で参加を募集しています。

都提案の桐ヶ丘建替え計画図。青い破線が新設道路。水色地区の住民を4期の建物に移転。



都もついに除染を決断! 次第に増えている黒い土の放射能

原発再稼働を問う都民投票条例を自・公・民(態度分裂)で否決

直接請求運動による東電管内の原発再稼働の是非を問う都民投票条例は、18日総務委員会で共産党などが原則採択を主張したのに対し、自民・公明が反対、民主は4人賛成の一方北区選出の前議長・和田議員が反対し1票差で否決されました。和田議員の反対には委員会室に驚きと失望が広がりました。

最終本会議でも北区の原田議員含め民主党の大半が反対に回ったため反対多数で否決されました。

北区のセシウム線量データ(水色の二つの数字の合計がベクレル値)

核種名	測定値±誤差 (Bq/Kg)
I-131	N. D.
CS-134	3191.89±289.25
CS-137	7072.14±623.35
K-40	1943.19±222.39

都議団の測定器で北区の土壌サンプルを測定するそねはじめ前都議



●**雨のたびに増えている放射線量**
原発事故から1年3か月、北区でも次第に一部の場所にセシウムが蓄積されていく傾向があり、非常に心配です。北区の担当者は「区にも基準はないが指摘の場所は清掃しておく」と述べています。

基準オーバーを確認させた結果、都はようやく除染を決めました。
●**党区議団と雑誌報道地点を調査**
そねはじめ前都議は、23区東部以外でも、北区の飛鳥山や西ヶ原に黒い土のホットスポットがあると雑誌報道を確かめるため、区議団と共に区立の防災センターや飛鳥山公園のゆるい傾斜の地面に溜まった土を採取し、25日に都議団の高度測定器で検査しました。
防災センターの土から約1・1万ベクレルのセシウム汚染が検出され、区に除染を要請しました。

区議団調査で西ヶ原でも基準超える濃度

都立水元公園の土壌が25万ベクレル(kg)も放射能汚染されていても「除染の基準がない」を理由に都は測定・除染を拒否してきました。

●マスコミ公開測定について

都議団は、同公園で都基準も超える空中放射線を発見し、マスコミのカメラの前で都に測定させ、

衆院採決結果見て、急に増税の弊害言いだしたマスコミ報道



6月26日、衆議院で消費税増税法案が可決されましたが、民主党議員で小沢派など予想以上の73人が反対や棄権、欠席で造反しました。マスコミの応援にかかわらず国民の強い反対が背景にあることは明瞭です。この結果を受けてTV報道は

急に消費税が上がった時のお年寄りのくらしや中小企業への影響、被災地が置き去りになる問題などを報じ始めました。2年後に増税が襲ったら実施する政権もマスコミも責任逃れするでしょう。いまこそ廃案をめざし、実施を阻止する国民運動をとものに広げましょう。

そねはじめ交友録 <その四十>

議員の人格を見抜いていたテレビ東京の五木田さん

都議団政調委員長になった私はテレビ東京の都議会討論番組に出演するようになり、当時司会は五木田さんというベテランアナウンサーが務めていました。都議会議員の文化芸術作品展もちゃんと見に来ていて、吉田信夫議員の水彩画や私の切り絵作品を非常にほめてくれました。吉田議員が個展を開くと必ずご夫婦で訪れてくれたとのこと。

討論番組の合間に「話し方や作品を見ると人となりわかります。曽根さんはどんな人にも温かい目で接しますね」と語りました。それが必ずしもメリットにならない時もあるのが政治の世界なんですけど・



番組後の写真。右が五木田アナ、左がそね